

## ロジックモデル(在宅医療)に関する論点

### 1 目指す姿(分野アウトカム)について

- 記載内容
  - ・ 長野県が目指す、「あるべき県民・患者の状態」として適切か
- 指標
  - ・ 記載内容を評価する指標として適切か

### 2 中間成果(中間アウトカム)について

- 区分
  - ・ 区分の分け方、記載内容は適切か
- 記載内容
  - ・ 目指す姿(分野アウトカム)に繋がる、「県民・患者の状態」「医療サービスの状態」として適切か
- 指標
  - ・ 記載内容を評価する指標として適切か

### 3 個別施策について

- 在宅医療の提供体制について
  - ・ 在宅医療を提供する多職種連携体制について、現状の課題を踏まえ、次期計画において重点的に取り組むべき施策があるか
  - ・ 国の医療計画作成指針に情報通信機器(ICT)の活用による対応力・連携強化について追記されたところ。県の現行施策で、補助事業により医療機関等のICT化の推進を図っているが、現行施策の強化や新たな施策の必要性についていかがか
  - ・ 国の医療計画作成指針に「在宅医療において積極的役割を担う医療機関の設置」「在宅医療に必要な連携を担う拠点の設置促進」を計画に位置付けるよう明記されたが、指針で示す役割を担う医療機関及び拠点の設置の要否、また、設置する場合はどのように進めていくと良いか

○ 人生の最終段階における在宅医療の提供について

- ・ 新たに、ACPの普及啓発及びACPを踏まえた急変時の搬送ルールづくりの推進を図りたいと思うが計画に記載してよいか。また、どのような取組が必要か
  
- ・ そのほか、次期計画において重点的に取り組むべき施策はなにか

# 在宅医療ロジックモデル (案)

【資料2-2 添付資料】



